

『FUKUOKA NEXT』の取組みのさらなる加速

～ 次世代に誇れるまちへ ～

令和2年度当初予算案の概要

令和2年2月14日

福岡市財政局



目 次

I 政策の推進	・ ・ ・ 1
1 「生活の質の向上」を実感できるまち	
2 多彩な人が集い「チャレンジ」できるまち	
3 「都市基盤」が充実し、次の世代のために歩むまち	
II 将来にわたり持続可能な財政運営の推進	・ ・ ・ 9
1 財源の確保	
2 アセットマネジメントの推進	
3 財政調整用基金の残高の確保	
4 市債残高の着実な縮減	
III 予算案の姿（概要）	・ ・ ・ 16

I 政策の推進

『FUKUOKA NEXT』の取組みのさらなる加速 ～ 次世代に誇れるまちへ ～

- 「元気なまち、住みやすいまち、成長可能性が高いまち」をさらに発展させ、「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環を確固たるものとし、あらゆる人が「生活の質の向上」を実感できる「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現を目指す
- 高まる需要に対する都市としての供給力の向上、「人生100年時代」を見据えた持続可能な社会、多様性を認め合う共生社会の実現に向けた取組み、ICTの活用による超スマート社会「Society5.0」の実現など、未来のためのチャレンジにより、安全・安心で持続的な好循環が可能な都市づくりを推進

1 「生活の質の向上」を実感できるまち

⇒ 保育環境の充実、特別教室空調整備、子ども虐待防止の推進、不育症検査費等助成、重度障がい者のグループホーム受入促進、多様性を認め合う共生社会の実現、認知症フレンドリーシティ・プロジェクト、繁華街における悪質な客引き対策

2 多彩な人が集い「チャレンジ」できるまち

⇒ 宿泊税を活用した観光振興事業の充実、東京オリンピック・パラリンピック関連事業、Fukuoka East & West Coastプロジェクト、Society5.0を支えるAIエンジニア支援事業、外国人材受入れ支援事業

3 「都市基盤」が充実し、次の世代のために歩むまち

⇒ 災害に強いまちづくり、脱炭素社会へのチャレンジ、天神ビッグバン、博多コネクティッド、ウォーターフロントネクスト、博多旧市街プロジェクト、Fukuoka Smart East、福岡空港周辺地域の環境整備

1 「生活の質の向上」を実感できるまち

すべての子どもの未来を育む

★:新規 ☆:拡充 宿:宿泊税充当事業 (単位:千円)

保育環境の充実

- ★第3子優遇事業の拡充【232,686】(こども)
多子世帯の経済的負担を軽減するため、第3子に対する副食費助成を幼稚園及び企業主導型保育施設等にも拡大
- ★保育体制強化事業【495,000】(こども)
安全な保育環境の整備及び保育士の負担軽減を図るため、民間保育所等における保育支援員配置費用を助成
- ★障がい児保育充実事業【57,252】(こども)
障がい児1人に対して保育士1人を配置する加配制度の導入及び配置基準や単価の見直し
- ★医療的ケア児受入促進【21,200】(こども)
民間保育所等での医療的ケア児の受入促進のため、看護師配置費用等を助成
- ★家賃助成事業補助金【296,552】(こども)
正規保育士等に対する家賃助成を企業主導型保育施設及び保育所並みの保育を実施する幼稚園にも拡大
- ★奨学金返済支援事業補助金【110,063】(こども)
正規保育士等に対する奨学金返済支援を企業主導型保育施設及び保育所並みの保育を実施する幼稚園にも拡大



教育環境の充実

- ★特別教室空調整備【25,777】(教委)
小・中学校特別教室への空調整備に向けた検討
- ★学校のICT環境整備の推進【553,301】(教委)
普通教室へのICT環境整備の実施及び児童生徒1人1台端末環境の実現に向けた取組みの検討・推進
- ★SNSを活用した教育相談体制構築事業【20,586】(教委)
SNSを活用した教育相談の相談期間や相談日を拡大し、教育相談体制を充実
- ★学力パワーアップ総合推進事業【140,034】(教委)
ふれあい学び舎事業について、年間の実施時間や指導員数等の拡充により、参加希望児童の受入体制を充実
- ★外国人就学状況訪問調査【2,708】(教委)
外国人児童生徒の就学状況を把握するため、訪問調査を実施
- ★学校水泳指導における民間プールの活用モデル事業【2,317】(教委)
水泳指導を民間委託し、授業充実、教員負担軽減、維持管理費削減等を検証



親子支援の充実

- ★産前・産後母子支援事業【26,352】(こども)
要支援妊婦に対する一貫した支援体制を構築するため、母子生活支援施設に支援コーディネーター等を配置
- ★産婦健康診査【99,631】(こども)
産婦の状況を把握し必要な支援につなげるため、健診費用を助成
- ★養育支援訪問事業(育児・家事援助)【30,558】(こども)
虐待のリスクを抱える家庭に対し、頻回な訪問型の在宅支援サービスを実施
- ★NPOとの共働による子どもショートステイ受け入れ【5,532】(こども)
要支援家庭への在宅支援を強化するため、NPO法人との共働によるショートステイ受け入れ専用枠を設置
- ★子ども医療費(通院拡大)【51,232】(保福)
子ども医療費の通院助成の対象を令和3年度から中学生まで拡大することに伴うシステム改修費用等
- ★予防接種(小児分)【217,822】(保福)
小児の予防接種項目にロタウイルスワクチンを追加
- ★不育症検査費・治療費助成事業【2,200】(こども)
妊娠しても流産や死産を繰り返す不育症の検査・治療に要する費用を助成
- ★医療的ケア児在宅レスパイト事業【3,650】(こども)
医療的ケア児の家族の負担軽減を図るため、医療保険適用範囲を超える自宅等での訪問看護に要する費用を助成
- ★ひとり親家庭自立支援給付金事業【159,528】(こども)
就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親への高等職業訓練促進給付金について、給付対象に通信制を追加



- ★民間社会福祉施設整備費等補助事業【106,200】(こども)
雁の巣幼稚園跡地における児童発達支援センターの整備費用を助成
- ★南部療育環境整備事業【6,235】(こども)
南部地域の相談・診断・療育機能の強化に係る検討
- ★心身障がい福祉センター・療育センター運営費【37,973】(こども)
心身障がい福祉センター及び療育センターにおける受診待ち期間を短縮するため、医師等を増員

誰もが安心して暮らしやすいまちへ

障がいのある方が暮らしやすいまち

- ★**重度障がい者グループホーム受入促進事業【25,123】(保福)**
グループホームにおいて、重度障がい者を受け入れるために必要な運営費を補助
- ☆**移動支援【40,051】(保福)**
グループホーム入居者の利用や共働き世帯の障がい児の通学時利用について、支援範囲を拡大
- ・**公共交通機関費用助成【290,071】(保福)**
障がい者の社会参加促進のため、交通費の一部を助成
(令和2年度以降も福祉乗車証を継続して交付)
- ☆**発達障がい者支援等施設整備事業【22,938】(保福)**
発達障がい者支援・障がい者就労支援センター(仮称)の整備に併せ、中央障がい者フレンドホームを設置(令和2年度は共に実施設計)
- ★**Net119緊急通報システム整備【22,413】(消防)**
聴覚・言語機能障がいのある方がスマートフォンなどから、音声によらない119番通報を円滑に行うことができるシステムの整備
- ★**小児・AYA世代^(※)がん患者在宅療養生活支援事業【2,268】(保福)**
安心して地域で療養生活を送ることができるよう、40歳未満のがん患者の在宅療養を支援
※AYA世代・・・「Adolescent and Young Adult 世代」の略。15～39歳の思春期・若年成人の世代
- ★**骨髄等移植ドナー助成事業【2,800】(保福)**
骨髄等の提供者でドナー休暇制度のない方に対して、助成金を交付

多様性を認め合う共生社会の実現



- ★**福岡版ユニバーサルマナー検定【3,750】(総企)**
市民を対象とした検定(講座)を通じて、ユニバーサルデザインの理念や実践的なサポート方法等を学び、市民の助け合い行動の変容を促進
- ☆**在住外国人の生活環境整備事業【39,614】(総企)**
転入手続き時の生活ガイダンスの実施、区役所等の多言語対応の充実(電話通訳・テレビ電話通訳・AI多言語音声翻訳システムの一括導入)
- ★**食のユニバーサル対応推進事業【11,032】(経観文)** 宿
多様な食文化や宗教に配慮したメニュー開発や店舗PR等により飲食店を支援
- ☆**民生委員【337,185】(保福)**
民生委員が活動しやすい環境づくりに向け、活動費の増額や欠員地区対策及び研修等への支援を拡充
- ★**セーフティネット住宅入居支援【51,730】(住都)**
セーフティネット住宅の登録促進に資する改修費補助及び住宅困窮度の高い要支援世帯に対する経済的支援
- ☆**一人一花運動【129,223】(住都)** 宿
市民や企業一人ひとりが花や緑を育てる取組みを支援
- ★**繁華街対策事業【25,220】(市民)** 宿
悪質な客引き対策として、繁華街に防犯カメラを設置し、指導員による巡回指導及びAIを活用した実証実験を実施



「福岡100」の推進～人生100年時代に向けて～

- ★**AIを活用した「ケアプラン作成システム」構築事業【87,197】(保福)**
行政データ等の活用により、エビデンスに基づく効果的なケアプランを作成し、健康寿命の延伸を目指す
- ★**高齢者の運動習慣定着推進事業【11,246】(保福)**
①福岡市が契約したフィットネスクラブが2か月間(1回500円、8回まで)利用可能
②ケアランボリンを使用した運動講座を実施
- ★**Fitness City構想検討経費【3,000】(保福)**
日常の暮らしの中で自然と体を動かし、健康になれるまち「Fitness City」の実現に向けた検討
- ★**農福連携推進事業【2,290】(農水)**
農業者と福祉事業者の意見交換会、先進地視察等を実施し、障がい者等の農業分野での就労を促進



認知症フレンドリーシティ・プロジェクトNEXT

認知症の人の「支援」から「活躍」のステージへステップアップを図る

- ★**福岡市版DAA(仮称)の構築推進【2,204】(保福)**
企業が積極的に認知症に関する課題への取組みを推進する場「DAA(認知症アクションアライアンス)」を構築、推進
- ★**Dカフェ(仮称)の開設【2,000】(保福)**
認知症の人がスタッフとして働くDカフェ(仮称)を開設
- ★**ICTを活用したユマニチュードのオンライン講座【280】(保福)**
家族介護者に対してユマニチュードのインストラクターがタブレット端末等を通して遠隔指導を試行実施
- ★**AIを活用した認知症の早期発見【100】(保福)**
民間企業で開発しているAIによる認知症早期検知の試行を福岡市で実施

多彩な人が集うおもてなしの街

- ★観光案内機能の強化事業【20,678】(経観文) 宿
大規模イベントや国際スポーツ大会に合わせた観光案内の充実
- ☆公衆無線LAN環境整備事業【76,313】(市長室) 宿
観光客の利用が多い交通拠点において、公衆無線LANの通信品質向上を実施
- ★デジタルサイネージを活用した情報発信の強化【59,600】(経観文) 宿
デジタルサイネージを活用し、外国人観光客等に対して多様な観光情報の提供を強化
- ★健全な民泊の普及推進経費【37,324】(保福) 宿
国内外の民泊サイトの監視など健全な民泊の普及推進に向けた取組みを実施
- ★宿泊事業者受入環境充実の支援【36,360】(経観文) 宿
宿泊事業者の受入環境充実や、人材確保・育成等に向けた取組みを支援
- ★観光客等の移動円滑化施策の推進【93,382】(交通) 宿
観光客等の移動円滑化に資する地下鉄駅昇降機等の整備を推進
- ★公衆トイレ環境の向上【27,638】(環境・住都) 宿
観光客の利便性向上のため、観光地周辺等にあるトイレの洋式化等を実施
- ☆博多旧市街プロジェクト【39,547】(経観文) 宿
観光客等が認知し楽しんでもらえるよう、博多旧市街フェスティバルの拡充や街並みの環境整備を実施
- ★文化芸術を活用した賑わい創出事業【27,792】(経観文) 宿
博多旧市街の魅力を増進し、地域の賑わいや集客、消費拡大を目的としたアートイベントを開催
- ★文化財を活用した魅力ある観光資源の創出事業【23,666】(経観文) 宿
インバウンド向けの伝統芸能やユニークベニューに対応できる「住吉神社能楽殿」の整備を支援
- ★食のユニバーサル対応推進事業【11,032】(経観文)【再掲】 宿
多様な食文化や宗教に配慮したメニュー開発や店舗PR等により飲食店を支援

MICEで賑わい、潤う街

東京オリンピック・パラリンピック関連事業

東京オリンピック・パラリンピックを福岡市から盛り上げるため、以下の事業を実施

- ★マラソンスイミングのオリンピック世界最終選考会【20,000】(市民)
マラソンスイミング(男女10km)の世界最終選考会をシーサイドももちエリアで開催
- ★事前合宿支援【22,214】(市民)
スウェーデン及びノルウェー選手団の事前合宿支援及び交流イベントを実施
- ★聖火リレー実施事業【45,849】(市民)
聖火リレー(大博通)及びセレブレーションを開催
- ★東京オリンピック・パラリンピック応援事業【10,709】(市民)
市民が参加できる大会応援事業を実施
- ★観光案内機能の強化【8,114】(経観文) 宿
東京オリンピック・パラリンピック開催にあわせて、臨時観光案内所を設置
- ★魅力あるナイトコンテンツの創出【79,300】(経観文) 宿
東京オリンピック・パラリンピック開催にあわせて、福岡市美術館において新たな観光の魅力を創出し、集客と回遊を促進
- ★国際スポーツ大会にあわせた受入環境の充実【18,460】(経観文) 宿
ホームページでの情報発信やおもてなし店舗の可視化等
- ☆世界水泳選手権の開催準備【4,466,381】(市民)
世界水泳選手権2021福岡大会及び世界マスターズ水泳選手権2021九州大会に向けた施設整備等の開催準備や気運醸成等
- ★アジア太平洋都市サミット【65,151】(総企)
国連ハビタット福岡本部と共同で第13回アジア太平洋都市サミットを福岡市で開催
- ☆国内を代表するMICE拠点の形成【1,056,691】(経観文) 宿
 - ①☆マリンメッセ福岡B館等の整備、花やアートによるおもてなし空間の創出
 - ②マリンメッセ福岡B館の開業準備やホールなどの公募条件の検討等
- ★グローバルMICE誘致強化事業【98,153】(経観文) 宿
質の高いMICE誘致強化のため、「Meeting Place Fukuoka」の体制強化や支援施策の充実



市街化調整区域の活性化

- ・農山漁村地域など市街化調整区域の活性化【7,400】(総企)
市街化調整区域の活性化に向けた地域主体の取組み支援及び民間事業者の誘致や公有地の活用検討等
- ☆市街化調整区域における定住化対策【7,400】(住都)
市街化調整区域における定住化促進に向けた地域の取組みを支援(空家・空き地物件の発掘等)
- ★地域情報化促進経費【140,000】(総企)
北崎地区における通信環境の充実

Fukuoka East & West Coast プロジェクト

- ★海辺を活かした観光振興事業【15,833】(経観文)
①海辺の魅力を有する志賀島・北崎エリアの観光周遊コースの形成等
②観光客を誘致するため、北崎周辺等の自然・食・文化等の魅力発信
- ★海辺を活かした観光振興に向けた道づくり【417,600】(道下)
海辺の観光周遊コースの形成に向けた、豊かな自然環境と調和した道づくり(志賀島・北崎)
- ☆海づり公園を活用した北崎地区活性化事業【8,500】(農水)
北崎地区の活性化に向けたイベントの開催及び施設再配置の基本設計の実施

宿



宿



宿

- ★農福連携推進事業【2,290】(農水)【再掲】
農業者と福祉事業者の意見交換会、先進地視察等を実施し、障がい者等の農業分野での就労を促進
- ☆森林経営管理制度推進事業【9,840】(農水)
森林経営管理法の施行に伴う森林所有者への意向調査
- ★園芸産地育成事業(地球温暖化対策)【21,000】(農水)
温室効果ガス排出量削減のため、園芸施設の省エネ型設備や生分解性マルチフィルムの導入を促進
- ☆イノシシ被害対策事業【38,514】(農水)
イノシシ被害の未然防止のため、ICT・IoTの活用等による捕獲活動等を実施
- ☆鳥獣害防止総合対策事業【5,010】(農水)
農作物被害防止のための捕獲活動経費の助成及び鳥獣被害の実態把握調査、対策の検討及び被害予防法等の広報・啓発



世界と繋がるスタートアップの街

- ☆グローバルスタートアップ推進事業【109,652】(総企)
海外進出を目指すスタートアップ向けの実践型プログラムの実施や国際ビジネスマッチングイベントの開催等
- ★研究開発次世代拠点形成事業【781,818】(経観文)
九州大学を活用した研究開発次世代拠点の形成を促進
- ☆エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進【76,953】(経観文)
エンジニアの交流拠点「エンジニアカフェ」の運営及び、イベントや交流会の実施



Society5.0 (超スマート社会) へのチャレンジ

- ※Society5.0…先端技術を社会生活等に取り入れることにより、様々な社会課題を解決する試み
- ★Society5.0を支えるAIエンジニア支援事業【5,673】(経観文)
Society5.0実現の重要な要素であるAIエンジニアを人材育成等により支援
- ☆区役所窓口の改善【140,522】(市民)
①☆引っ越し手続きのオンラインサービスに係る運営経費等
②ICTを活用した窓口手続きの簡素化に係るシステム運営経費等
- ☆スマートシティ推進事業【16,359】(総企)
AIやIoTといった先端技術を活用した民間提案を支援し、社会課題の解決や行政事務の効率化・高質化(問い合わせが多い分野のチャットボット対応等)を推進

地場企業・商店街・働く人を応援する街

- ★外国人材受入れ支援事業【3,597】(経観文)
外国人材受入れを検討している企業向けに、外国人材の採用に関する情報やノウハウを提供するセミナーを実施
- ★姉妹都市ヤンゴン市との経済交流事業【5,329】(経観文)
ミャンマー人材活用に向けたネットワーキング等の実施及び「食」分野における販路拡大支援
- ★商店街観光振興事業【34,365】(経観文)
商店街が行う観光客の消費取込みを目的とした取組みを支援

宿

★:新規 ☆:拡充 宿:宿泊税充当事業 (単位:千円)

災害に強いまちづくり

- ☆災害対策本部機能の充実・強化【11,880】(市民)
災害時の被害状況等の迅速な情報収集及び共有に向けたICT設備の導入検討等
- ★災害時の電力確保【104,199】(市民・財政)
公民館等に電気自動車等から電力を供給するための設備の導入、
庁舎等の電力確保に関する調査・検討等
- ★大規模停電発生時の給水確保【172,348】(水道)
水道施設への非常用発電機の設置
- ★災害時の観光客対応強化事業【8,850】(経観文) 宿
宿泊事業者等と連携した災害時の観光客への情報発信や安全確保対策
- ☆救急隊の増隊【33,690】(消防)
都心部の救急需要増加に対応するため、博多消防署に救急隊を増隊
- ☆博多区庁舎耐震対策事業【842,697】(市民等)
新庁舎の整備等に係る設計・工事等
- ☆地下街防災推進事業【31,450】(住都)
地下街管理者が行う防災対策に対する補助
- ★災害ボランティアネットワーク構築事業【1,709】(市民)
災害時に備え、災害ボランティア団体等とのネットワークを構築
- ★防災重点ため池対策事業【179,033】(農水)
防災重点ため池の安全対策のための調査や工事
- ☆緊急輸送道路橋梁耐震補強【218,000】(道下)
緊急輸送道路における橋長15m以上の橋梁の耐震補強工事等
- ・路面下空洞対策【323,000】(道下)
道路陥没による事故等を未然に防ぐため、路面下空洞調査及び補修等を実施
- ・水道管路・重要土木構造物耐震化事業【8,825,699】(水道)
配水管などの耐震管への更新や沈でん池の耐震化を実施
- ・下水道整備(地震対策)【2,625,500】(道下)
管渠等の耐震化工事を実施



脱炭素社会へのチャレンジ

- ★脱炭素社会の実現に向けた取組み【20,047】(環境)
地球温暖化対策実行計画等の改定や、ECOチャレポイントの拡充など、
市民・事業者・行政が一体となった取組みを推進
- ★事業系古紙の資源化推進【201,989】(環境)
事業系古紙の分別収集による資源化を推進し、原料としての木材使用を
抑制することでCO2排出量の削減を図る
- ★事業系ごみ資源化技術実証研究等支援事業【12,040】(環境)
ICT・AI等を活用した食品ロス削減のためのシステム構築支援等
- ★次世代モビリティサービス実証支援事業【20,000】(環境)
運輸部門の温室効果ガス排出量のさらなる削減を図るため、
ICT・AI等の先進技術を活用した次世代モビリティサービス等の実証事業を支援
- ・道路照明灯の一括LED化事業(道下)
民間の資金とノウハウを活用するESCO事業により、道路照明灯2万基を
令和2年度にLED化
- ★マイボトル用「給水スポット」の設置【17,600】(環境・水道)
プラスチックごみ削減及び熱中症の予防のため、マイボトル用給水スポットを設置
- ★マイボトルデザインコンテスト【1,000】(環境)
市民が親しみやすいマイボトルデザインコンテストの実施等
- ★博多湾ブルーカーボン・オフセット制度【8,100】(港空)
アマモ場などの藻場によるCO2吸収量を「ブルーカーボン・クレジット」として
認証し、企業等と連携して博多湾の環境保全を推進
- ☆区役所窓口の改善【140,522】(市民)【再掲】
引っ越し手続きのオンラインサービス等の実施により、
市民の利便向上とともに、車移動による燃料消費の低減等を推進
- ★園芸産地育成事業(地球温暖化対策)【21,000】(農水)【再掲】
温室効果ガス排出量削減のため、園芸施設の省エネ型設備や
生分解性マルチフィルムの導入を促進

未来に向けて生まれかわるまち

- ★天神ビッグバン賑わい創出事業【5,000】(住都)
エリアマネジメント団体等と連携しながら、天神地区の賑わいを創出
- ・天神ビッグバンの奥座敷(西中洲)～情緒ある路地空間の創出～【70,902】(住都・道下)
天神ビッグバンの奥座敷(西中洲)の魅力づくりに向けた石畳による道路整備等
- ☆博多駅筑紫口駅前広場の再整備【590,000】(道下)
市民や来街者にとって、さらに安全で使いやすい駅前広場に再整備
- ★観光客等の移動円滑化施策の推進【93,382】(交通)【再掲】
博多駅筑紫口のエスカレーター等の整備を推進



宿

ウォーターフロントネクスト



- ・ウォーターフロント地区(中央ふ頭・博多ふ頭)再整備の推進【34,000】(住都)
ウォーターフロント地区再整備の事業者公募に向けた検討等
- ☆国内を代表するMICE拠点の形成【1,056,691】(経観文)【再掲】
①☆マリンメッセ福岡B館等の整備、花やアートによるおもてなし空間の創出
②マリンメッセ福岡B館の開業準備やホールなどの公募条件の検討等
- ・クルーズ機能の強化【9,319】(港空)
クルーズターミナルなどの整備・運営に係る公募条件等の検討
- ・ウォーターフロント地区周辺道路の整備【89,000】(道下)
築港石城町線及び那の津通り6車線化の整備

宿

- ・歴史・文化に配慮した道づくり【108,400】(道下)
「博多旧市街」エリアの主な通りを歴史・文化に配慮した趣のある道路として再整備



- ☆九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり【1,993,017】(住都)
箱崎キャンパス跡地の先進的なまちづくり及び都市基盤整備の取り組み等



- ・青果市場跡地活用の推進【88,233】(住都・道下)
跡地活用に向けた事業者や地域との協議・調整、周辺道路の整備等

文化・コミュニティ施設の整備・充実

- ・拠点文化施設整備事業(市民会館の再整備)【30,564】(経観文)
拠点文化施設整備に向けた契約締結等を実施
- ☆南市民センター大規模改修工事【138,716】(市民)
南市民センターの大規模改修に係る設計・工事等
- ・早良南地域交流センター整備事業【25,669】(市民)
早良南地域交流センター整備に係る設計・工事等

憩い・潤いの空間の充実

- ☆一人一花運動【129,223】(住都)【再掲】
市民や企業一人ひとりが花や緑を育てる取組みを支援
- ☆動植物園再生事業【1,334,536】(住都)
動植物園の魅力向上を図るため、ゾウ舎等を整備
- ☆合葬墓整備事業【236,806】(住都)
高齢化や市民ニーズ等を踏まえた、承継を必要としない合葬墓の整備



宿

交通・人流・物流機能の強化

- ・福岡空港関連事業【3,094,054】(港空等)
福岡空港整備事業に対する地方負担や、空港周辺地域の生活道路改善及びまちづくりの検討等
- ☆港湾機能の強化【4,541,697】(港空)
船舶の大型化に対応するための航路やアイランドシティ岸壁の整備等
- ・地下鉄七隈線延伸事業【7,619,000】(交通)
地下鉄七隈線の延伸(天神南駅～博多駅)に係る土木本体工事等を推進
- ・西鉄天神大牟田線連続立体交差事業(雑餉隈駅付近)【1,925,713】(道下)
西鉄天神大牟田線雑餉隈駅付近の連続立体交差化
- ・アイランドシティへの自動車専用道路整備【3,629,506】(道下・港空)
自動車専用道路アイランドシティ線(福岡高速6号線)の整備
- ・都心部交通対策の推進【24,779】(住都・道下)
都心循環BRTに係る利用者等の意向調査や、フリンジパーキング及び天神北における隔地駐車場の検討等
- ★橋本駅前地区における拠点形成関連基盤整備【266,600】(住都)
地域拠点の形成に向けた基盤整備を行う民間の土地地区画整理事業への支援



宿泊税の主な使い道

宿泊税とは

福岡市内のホテルなどに宿泊する場合に、宿泊者に対して課税される法定外目的税。「観光・MICE推進プログラム」に記載されている「九州のゲートウェイ都市機能強化」、「2020年以降の大型MICE開催等の集客拡大への対応」及び「地域や市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進」に要する費用に充てられる。

九州のゲートウェイ都市機能強化

- ・マリンメッセ福岡B館等の整備 (770百万円)
- ・観光客等の移動円滑化施策の推進 (94百万円)
- ・Fukuoka City Wi-Fiの拡充 (91百万円)
- ・デジタルサイネージを活用した
情報発信の強化 (60百万円)
- ・観光案内機能の強化 (29百万円)
- ・九州広域連携集客 (26百万円)

大型MICE等集客拡大

- ・グローバルMICE誘致強化 (99百万円)
- ・魅力あるナイトコンテンツの創出 (80百万円)
- ・文化芸術を活用した賑わい創出 (28百万円)
- ・文化財を活用した魅力ある
観光資源の創出 (24百万円)
- ・繁華街対策 (14百万円)
- ・災害時の観光客対応強化 (9百万円)

持続可能な観光振興

- ・海辺を活かした観光振興 (429百万円)
- ・観光地におけるマナー啓発・受入改善 (42百万円)
- ・健全な民泊の普及推進 (38百万円)
- ・宿泊事業者受入環境充実の支援 (37百万円)
- ・公衆トイレ環境の向上 (28百万円)
- ・(再掲)観光客等の移動円滑化施策の推進 (94百万円)

総事業費約 **22** 億円

(宿泊税の賦課徴収に要する経費(約1億円)除く)

※令和2年度宿泊税歳入見込額 約18億円

Ⅱ 将来にわたり持続可能な財政運営の推進

1 財源の確保

平成29年6月に策定した「財政運営プラン」の取組みの方向性を踏まえ、市民生活に必要な行政サービスを安定的に提供しつつ、重要施策の推進や新たな課題への対応に必要な財源を確保するため、「歳入の積極的な確保」や「行政運営の効率化」などの取組みを進めることとし、令和2年度当初予算においては約50億円の財源を確保しました。

財源確保総額 5,046百万円

(単位：百万円)

行政運営の効率化

1,182

① 企業会計・特別会計における見直し

692

モーターボート競走事業収益の確保による一般会計への繰出金の増
など 500

② 外郭団体等の見直し

343

水産加工公社の解散 212
学校給食公社委託料の見直し 131

③ その他行政運営の効率化

147

ごみ収集業務委託に係る競争性の拡大 71
消防自動車更新に係る仕様の見直し 62
など

歳入の積極的な確保

3,504

① 収入・収納率等の向上

2,144

宿泊税の課税開始 1,799
市税収入率の向上 [R1 98.60% → R2 98.68%] 275
など

② 市有財産の有効活用 等

1,360

未利用地等の売却・貸付 1,212
など

その他公共施設の見直し 等

360

青果市場の施設使用料の段階的改定 45
道路占用料の改定 33
など

2 アセットマネジメントの推進

市有施設を安全・安心に利用できるよう維持し、良質な公共サービスを持続的に提供していくため、「福岡市アセットマネジメント基本方針」に基づき、財政負担の軽減・平準化を図りつつ、施設の状態等に応じた適切な維持管理を推進します。

アセットマネジメントの推進にあたっては、計画的に施設の改修・修繕等を実施することで、安全性や利用者満足度を確保しつつ、施設を長寿命化するなど、長期的な観点から施設に要する費用の縮減を図ります。

●アセットマネジメント事業費

(単位：億円)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	差引増減 (令和2年度－令和元年度)
一般会計	429	486	543	600	57 (11%)
全会計	826	874	1,026	1,099	73 (7%)

※国予算関連の2月補正予算における前倒しを含む

※億円未満を四捨五入しており計算が一致しない場合がある

【主な取組み】(一般会計)

(単位：千円)

①施設の長寿命化・機能維持

- 施設を目標耐用年数まで使用するために必要な設備などの改修や、劣化等の進行した施設が所要の性能を継続的に維持するために行う修繕等
- ・ごみ処理施設の整備【4,312,076】(環境)
臨海工場の焼却設備の更新工事等
 - ・学校の校舎等の大規模改造【4,016,936】(教委)
老朽化した校舎の大規模改造等(15校)
 - ・スポーツ施設改修【2,553,319】(市民)
総合西市民プールの外壁や屋上防水、受変電設備の改修等
 - ・市営住宅の長寿命化【1,104,844】(住都)
市営住宅ストック総合活用計画に基づく住宅の外壁や屋上防水の改修
 - ・道路大規模修繕【740,596】(道下)
道路アセットマネジメント基本方針に基づいて道路の健全性を保つための修繕
 - ・橋梁の長寿命化【662,899※】(道下)
橋梁長寿命化修繕計画に基づいて橋梁の健全性を保つための修繕・点検
 - ・区役所庁舎改修【455,656】(市民)
区役所庁舎の空調設備改修等

※令和元年度2月補正予算における前倒しを含む

②施設の機能充実・向上

- 耐震改修やバリアフリー化など、社会情勢や市民ニーズに応じた施設の機能充実及び安全性向上のために行う改修等
- ・学校の校舎及び附帯施設等整備【5,696,744】(教委)
学校の便所改造(洋式化)や外柵改良等
 - ・市営住宅の改善【2,625,423】(住都)
高齢者対策など居住水準向上のための住宅の住戸改善、耐震改修等

③施設の建替・更新

- 施設の設置目的や役割を十分果たすために必要な施設の建替・更新
- ・市営住宅の建替【6,796,669※】(住都)
老朽化した市営住宅の建替(下山門住宅等292戸建設着手など)
 - ・公園再整備【664,586※】(住都)
老朽度調査等を行い策定した公園再整備計画に基づく公園の整備(24公園)
 - ・公民館改築【621,949】(市民)
100坪館から150坪館への建替(西長住、南当仁公民館など)

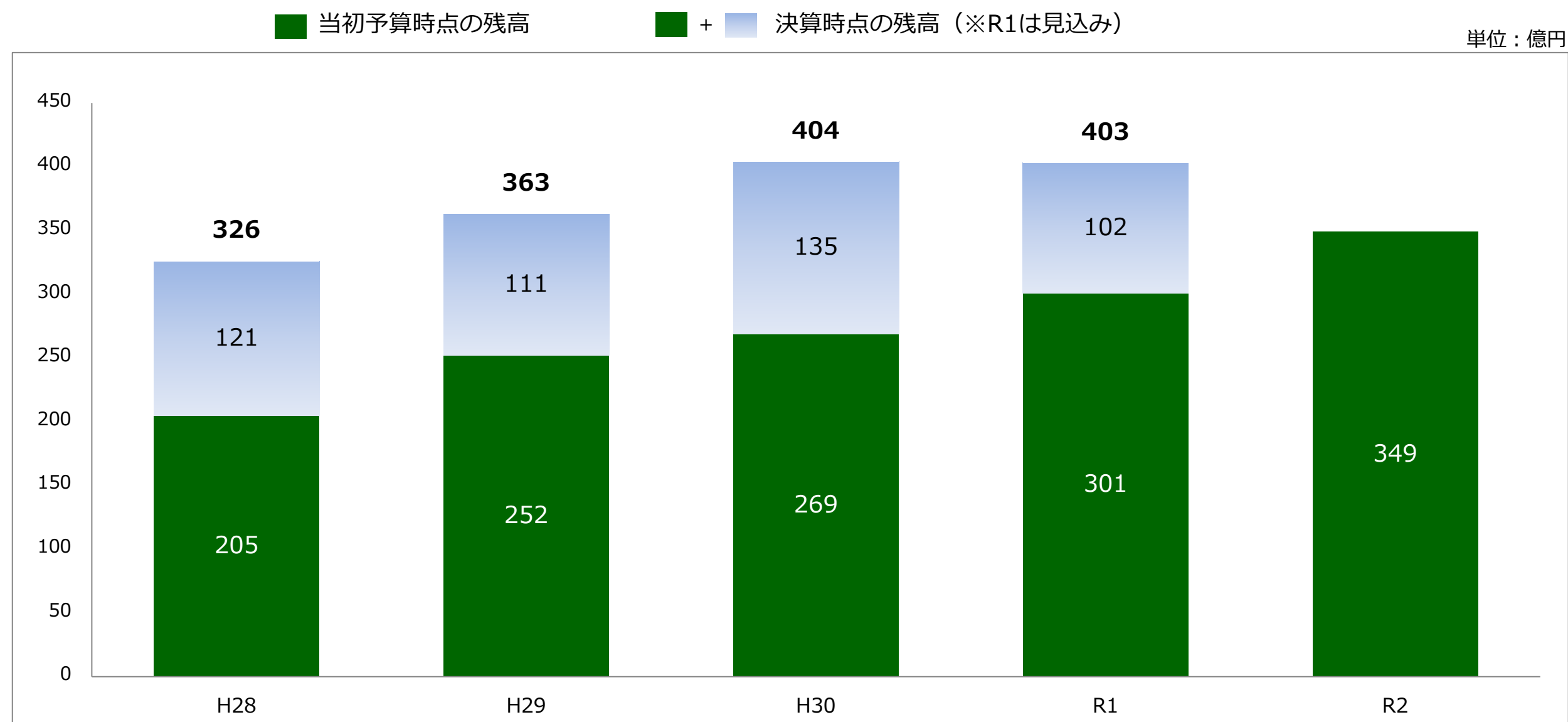
3 財政調整用基金の残高の確保

(1) 財政調整基金の取崩額の抑制

- ・ 当初予算編成時における財政調整基金の取り崩し額を7年連続で縮減（▲10億円）

H25：65億円，H26：62億円，H27：60億円，H28：59億円，H29:58億円，H30:57億円，R1:56億円，R2:55億円(▲1億円)

(2) 財政調整用基金の残高の推移



4 市債残高の着実な縮減

(1) 市債発行額の抑制

① 市債発行額（一般会計）

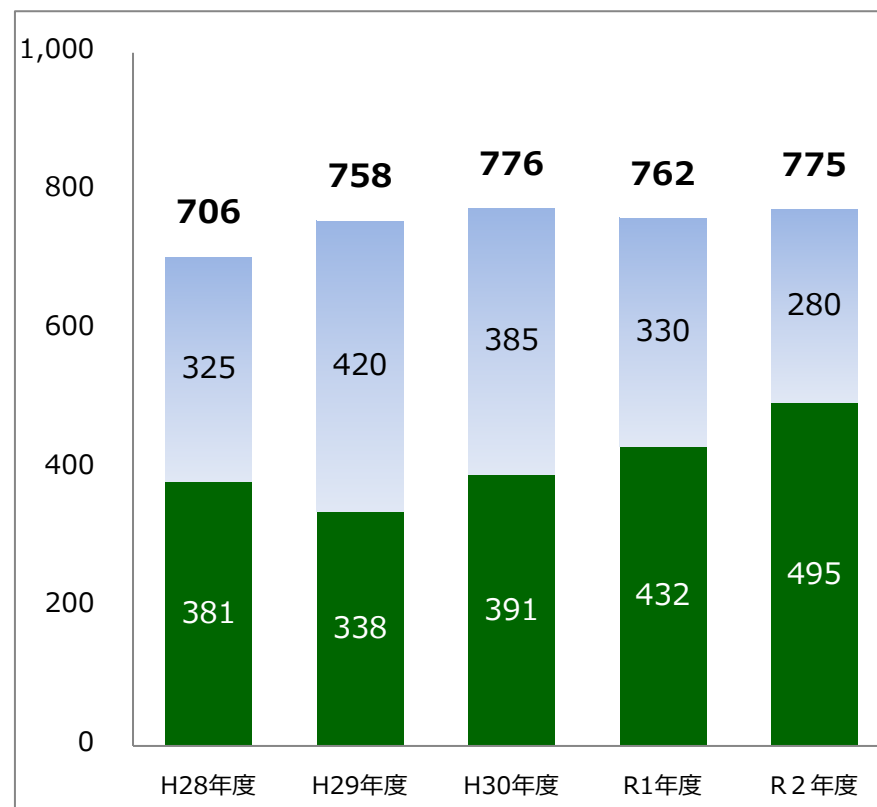
- 市債発行額は増加（+13億円）
- 臨時財政対策債は減少（▲50億円）

	令和元年度	令和2年度	増減額
市債発行額	762億円	775億円	13 億円
うち臨時財政対策債	330億円	280億円	▲ 50 億円

② 市債発行額（一般会計）の推移

市債発行額の推移（一般会計・当初予算額）

■ その他の市債 ■ 臨時財政対策債
(単位：億円)



(2) 市債残高の縮減

① 令和2年度末市債残高の状況

- ・ 一般会計は令和元年度末と比べ縮減（▲119億円）
- ・ 満期一括積立金を除く全会計では令和元年度末と比べ縮減（▲454億円）
- ・ 満期一括積立金を除く全会計でピーク時より5,949億円縮減（▲23.0%）

(単位：億円)

	平成16年度 年度末残高	令和元年度 年度末残高 (A)	令和2年度			差引き (B) - (A)
			新規発行	市債償還	年度末残高 (B)	
一般会計	12,928	11,812	775	▲ 894	11,693	▲ 119
全会計	25,882 (27,092)	20,387 (22,492)	1,093	▲ 1,547 (▲ 1,467)	19,933 (22,118)	▲ 454 (▲ 374)

※億円未満を四捨五入しており計算が一致しない場合がある。

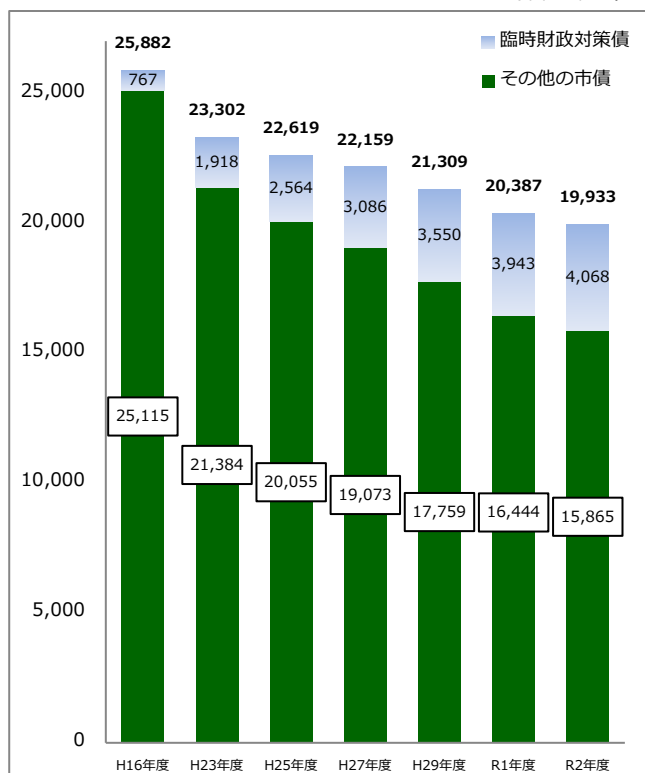
※カッコ内は、満期一括積立金（満期一括償還のために既に償還財源を市債管理基金に積み立てたもの）を含む。

②市債残高の推移

令和2年度末の満期一括積立金を除く全会計市債残高見込額は、平成8年度以来、24年ぶりに2兆円を下回る1兆9,933億円。また、国が償還額を全額地方交付税措置する臨時財政対策債の残高見込額を除いた額は、そのピーク時の平成16年度末から9,250億円減少し、1兆5,865億円となり、その市民一人当たり市債残高見込額は、平成16年度末から約83万円減少し、約102万円となります。

市債残高の推移（全会計）

（単位：億円）



※平成29年度までは決算ベース，令和元年度は2月補正後(繰越明許費を反映していない)，令和2年度は当初予算ベース

※満期一括積立金を除く

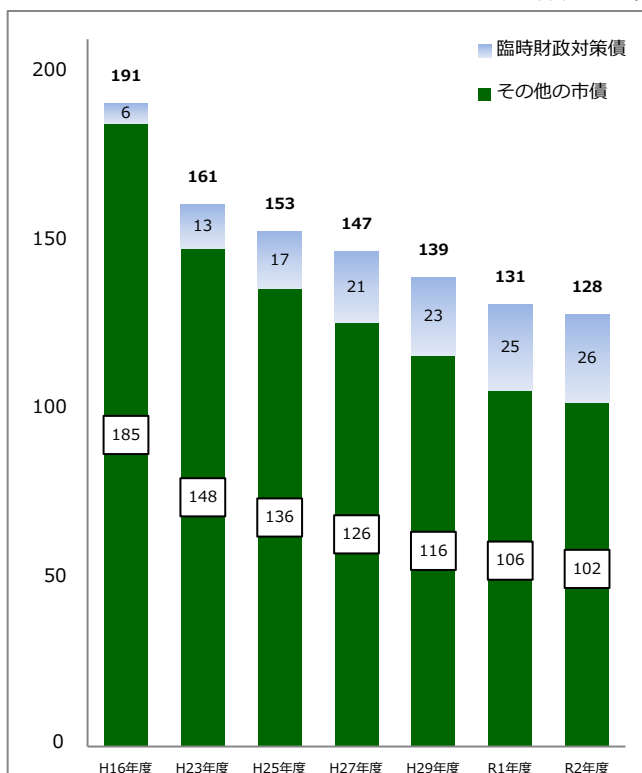
◎満期一括積立金を含む全会計市債残高の推移

（億円）

年度	H16	H23	H25	H27	H29	R1	R2
金額	27,092	24,695	24,190	23,796	23,136	22,492	22,118

市民一人当たり市債残高の推移（全会計）

（単位：万円）



※平成29年度までは決算ベース，令和元年度は2月補正後(繰越明許費を反映していない)，令和2年度は当初予算ベース

※平成29年度までは各年度末現在，令和元年度、2年度は令和元年12月末現在の登録人口

※満期一括積立金を除く

◎市民一人当たり市債残高の推移（満期一括積立金を含む全会計）

（万円）

年度	H16	H23	H25	H27	H29	R1	R2
金額	200	171	164	158	151	145	142

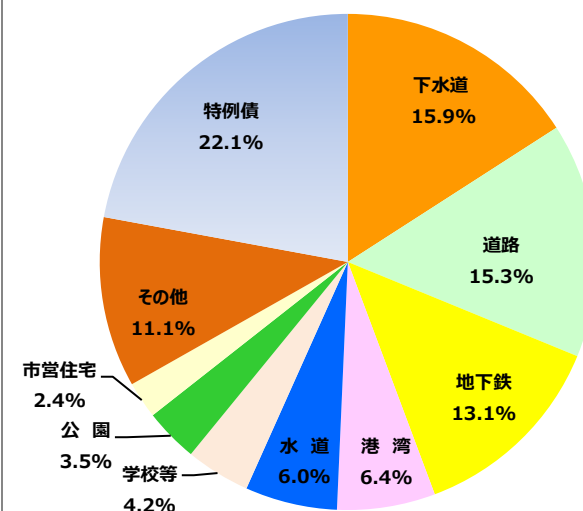
令和2年度末残高の見込み

- 一般会計
約 1兆1,693億円 (▲119億円)
- 特別会計
約 1,596億円 (▲78億円)
- 企業会計
約 6,644億円 (▲257億円)
- ◇ 満期一括積立金を除く全会計
約 1兆9,933億円 (▲454億円)
< 約 2兆2,118億円 (▲374億円) >

() は令和元年度末残高見込みとの差

< > は満期一括積立金を含む

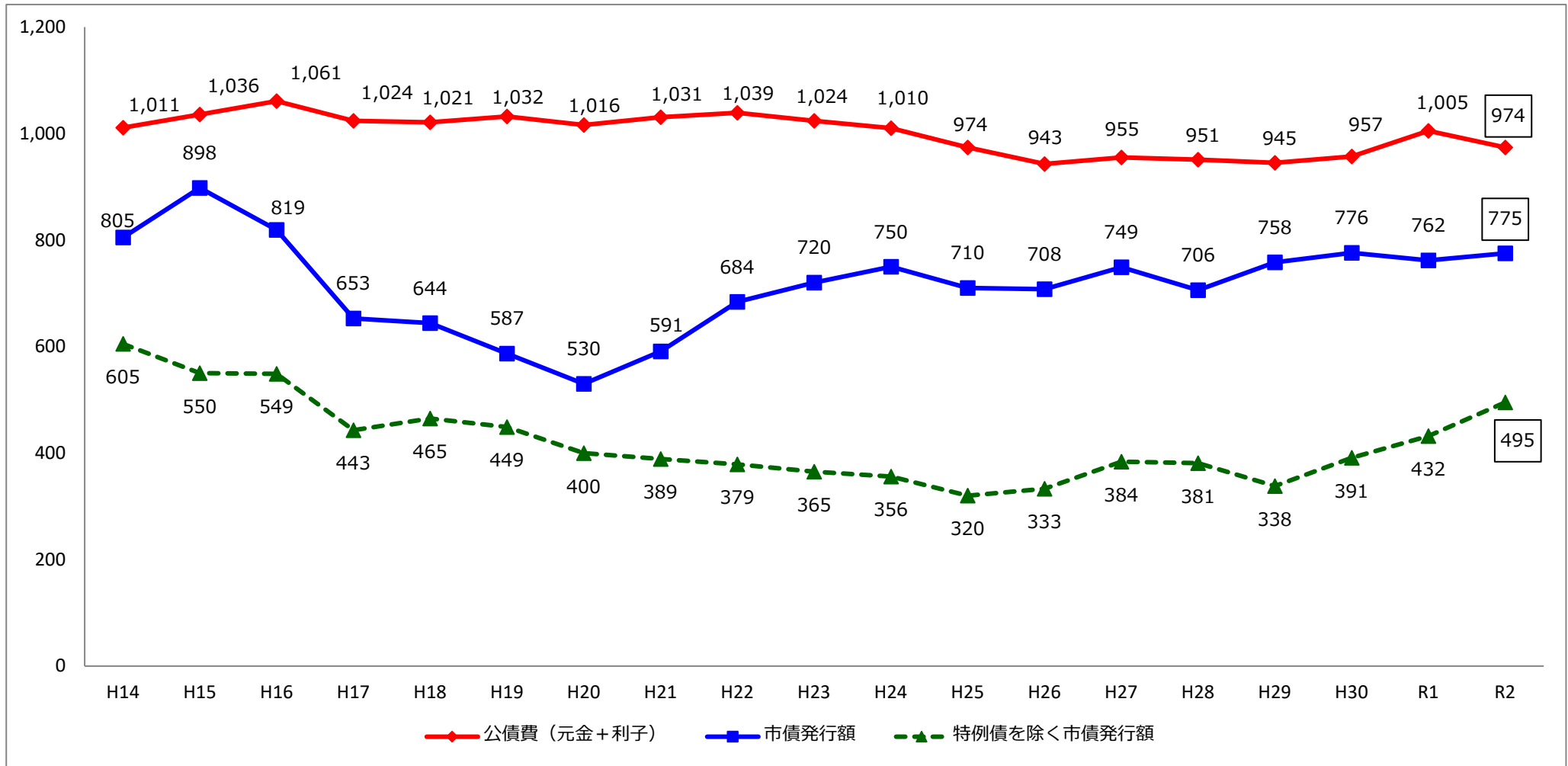
市債残高の割合(令和2年度末見込)



<参考> 市債発行額と公債費の状況（一般会計）

～市債発行額と公債費の推移（当初予算額）～

（単位：億円）



※特例債：後年度に地方交付税措置される特例的に発行された市債（臨時財政対策債、減税補てん債（～H18））

Ⅲ 予算案の姿（概要）

1 予算規模

- ・ 一般会計は，教育環境の整備及び教育活動の充実に伴う教育費の増加や，就学前児童の教育・保育に係る給付費及び障がい児・者の施設給付費等の社会保障関係費の増加などにより
過去最大規模　＋2.4%
- ・ 全会計合計は，前年度を上回る　＋1.0%

※以下，詳細は別添資料「令和2年度当初予算案計数資料」参照。億円未満は四捨五入しており合計が一致しない場合がある。

区 分	令和元年度	令和2年度	増減額	伸率(%)
一般会計	8,666億円	8,875億円	208 億円	2.4
特別会計	7,415億円	7,342億円	▲ 73 億円	▲ 1.0
企業会計	3,158億円	3,212億円	54 億円	1.7
合 計	1兆9,240億円	1兆9,428億円	188 億円	1.0

2 予算案のポイント

※（ ）内の増減は対令和元年度当初予算比

○一般会計

<歳入>

- ・ 市税収入は、法人市民税における法人税割の一部国税化に伴う税率引き下げの影響がある一方、個人市民税における納税義務者数の増加、固定資産税における新增築家屋の影響、宿泊税の課税開始などにより、令和元年度当初を上回る
- ・ 臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は、市税収入及び地方消費税交付金の増加等に伴い減少
- ・ 市債発行額は、令和元年度当初と同水準にとどめるなど市債発行の抑制に努め、市債残高も減少

<歳出>

- ・ 真に必要な施策・事業に必要な予算を確保し、福岡市を次のステージへと飛躍させるチャレンジ『FUKUOKA NEXT』を着実に推進
- ・ 「元気で住みやすいまち、成長可能性が高いまち」にさらに磨きをかけ、「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環の実感をあらゆる人に行き渡らせることに注力
- ・ 子どもが健やかに育つ環境の充実として、教育費（+96億円）、こども育成費（+57億円）を増額
- ・ 宿泊税を活用した観光振興事業〔22億円〕の充実
- ・ 都市の供給力を高め、成長を牽引する先進的なまちづくりに積極的にチャレンジ
- ・ 扶助費に医療・介護関連の繰出金・負担金を加えた社会保障関係費は引き続き増加（+97億円）

3 一般会計の状況

(1) 一般財源の状況（概要）

項 目	令和元年度	令和2年度	増減額	伸率（％）
市税	3,358億円	3,397億円	39 億円	1.2
個人市民税	1,270億円	1,309億円	39 億円	3.1
法人市民税	416億円	362億円	▲ 54 億円	▲ 13.0
固定資産税	1,202億円	1,235億円	33 億円	2.8
地方譲与税	63億円	66億円	3 億円	4.8
交付金	367億円	489億円	122 億円	33.4
法人事業税交付金	—	41億円	41 億円	皆増
地方消費税交付金	284億円	374億円	90 億円	31.5
地方特例交付金	27億円	15億円	▲ 13 億円	▲ 46.7
地方交付税等	685億円	590億円	▲ 95 億円	▲ 13.9
地方交付税	355億円	310億円	▲ 45 億円	▲ 12.7
臨時財政対策債	330億円	280億円	▲ 50 億円	▲ 15.2
その他	125億円	121億円	▲ 4 億円	▲ 3.1
合 計	4,625億円	4,678億円	53 億円	1.1

※ 平成26年度及び令和元年度の消費税率引き上げによる増収分＜180億円＞は社会保障関係費＜2,884億円＞に充当

森林環境譲与税＜1.4億円＞は森林整備及びその促進に関する費用（新規・拡充分）＜1.4億円＞に充当

(1) 一般財源の状況（ポイント）

<総 額> 4,678億円（+53億円）

<市 税> 3,397億円（+39億円）

- ・ 個人市民税は納税義務者数の増加等により, +39億円（+3.1%）
- ・ 固定資産税は新增築家屋の影響等により, +33億円（+2.8%）
- ・ 宿泊税の課税開始により, +18億円（皆増）
- ・ 法人市民税は法人税割の一部国税化に伴う税率引き下げ等により▲54億円（▲13.0%）

<法人事業税交付金> 41億円（皆増）

- ・ 法人市民税法法人税割の税率引き下げによる減収分の補てん措置

<地方消費税交付金> 374億円（+90億円）

- ・ 消費税率引き上げ等により増（消費税率引き上げ影響額は+48億円）

<地方特例交付金> 15億円（▲13億円）

- ・ 幼児教育・保育の無償化に係る子ども・子育て支援臨時交付金の終了により, ▲13億円（▲46.7%）

<地方交付税等> 590億円（▲95億円）

- ・ 市税収入及び交付金の増加等に伴い, 地方交付税等は減少
（地方交付税▲45億円, 臨時財政対策債▲50億円）

<その他>

- ・ 財政調整基金の取り崩し額は7年連続で縮減（▲1億円）

(2) 性質別歳出の状況（概要）

項 目	令和元年度	令和2年度	増減額	伸率（%）
人件費	1,438億円	1,483億円	46 億円	3.2
扶助費	2,275億円	2,334億円	59 億円	2.6
公債費	1,005億円	974億円	▲ 30 億円	▲ 3.0
義務的経費 計	4,717億円	4,791億円	74 億円	1.6
物件費	963億円	950億円	▲ 13 億円	▲ 1.3
補助費等	591億円	594億円	3 億円	0.5
普通建設事業費	807億円	948億円	141 億円	17.5
補助事業費	450億円	505億円	54 億円	12.1
単独事業費	356億円	443億円	87 億円	24.3
維持補修費	114億円	115億円	1 億円	0.8
貸付金	819億円	793億円	▲ 26 億円	▲ 3.1
繰出金	580億円	609億円	28 億円	4.9
その他	75億円	74億円	▲ 1 億円	▲ 1.3
合 計	8,666億円	8,875億円	208 億円	2.4

(2) 性質別歳出の状況（主な増減）

＜義務的経費＞ 4,791億円（+74億円）

- ・ 人件費は、会計年度任用職員制度（+42億円）、職員給（会計年度任用職員除く）（+19億円）、退職手当の減（▲18億円）などにより、+46億円
- ・ 扶助費は、就学前児童の教育・保育に係る給付費（+58億円）、障がい児・者施設給付費等（+15億円）などにより、+59億円
- ・ 公債費は、元金の減（▲25億円）、利子の減（▲5億円）により、▲30億円

＜その他＞

- ・ 物件費は、会計年度任用職員制度移行（▲28億円）、番号制度対応（+6億円）、教育ICT環境整備（+4億円）などにより、▲13億円
- ・ 補助費等は、世界水泳選手権福岡大会開催準備（+30億円）、プレミアム付商品券事業費（▲23億円）などにより、+3億円
- ・ 普通建設事業費は、学校規模適正化事業（+48億円）、校舎及び附帯施設等整備（+26億円）、スポーツ施設改修（+15億円）、九大箱崎キャンパス跡地の都市計画道路整備（+13億円）などにより、+141億円
- ・ 貸付金は、商工金融資金預託金（▲27億円）などにより、▲26億円

(3) 目的別歳出の状況 (概要)

項 目	令和元年度	令和2年度	増減額	伸率 (%)
総 務 費	531億円	581億円	50 億円	9.5
こども育成費	1,244億円	1,301億円	57 億円	4.6
保健福祉費	2,084億円	2,128億円	44 億円	2.1
環 境 費	322億円	331億円	9 億円	2.8
経済観光文化費	926億円	901億円	▲ 25 億円	▲ 2.7
土 木 費	414億円	418億円	4 億円	0.9
都市計画費	521億円	536億円	15 億円	2.8
港湾空港費	128億円	127億円	▲ 1 億円	▲ 1.0
消 防 費	150億円	147億円	▲ 3 億円	▲ 2.0
教 育 費	1,227億円	1,322億円	96 億円	7.8
公 債 費	1,009億円	980億円	▲ 29 億円	▲ 2.8
そ の 他	112億円	103億円	▲ 8 億円	▲ 7.6
合 計	8,666億円	8,875億円	208 億円	2.4

（３）目的別歳出の状況（主な増減）

<総務費>

世界水泳選手権福岡大会開催準備（+30億円）、スポーツ施設改修（+15億円）、
番号制度対応（+12億円）、国勢調査（+8億円）、システム刷新関連（▲12億円）

<こども育成費>

就学前児童の教育・保育に係る給付費（+59億円）、障がい児施設給付費等（+9億円）、
留守家庭こども会（+6億円）、児童扶養手当（▲20億円）

<保健福祉費>

医療・介護関連の繰出金・負担金（+38億円）、障がい者施設介護給付費等（+5億円）、
障がい者グループホーム訓練等給付費等（+5億円）

<経済観光文化費>

商工金融資金預託金（▲27億円）、プレミアム付商品券事業費（▲23億円）、
宿泊税充当事業（+15億円）、博物館大規模改修事業（+5億円）

<教 育 費>

学校規模適正化事業（+50億円）、校舎及び附帯施設等整備（+25億円）、
学校給食センター再整備事業（+13億円）、大規模改造（+8億円）

<公 債 費>

元金（▲25億円）、利子（▲5億円）

4 特別会計の状況（概要）

項 目	令和元年度	令和2年度	増減額	伸率（％）
後 期 高 齢 者 医 療	192億円	194億円	3 億円	1.5
国 民 健 康 保 険 事 業	1,366億円	1,404億円	38 億円	2.8
介 護 保 険 事 業	1,083億円	1,129億円	46 億円	4.3
中 央 卸 売 市 場	68億円	59億円	▲ 9 億円	▲ 13.0
港 湾 整 備 事 業	266億円	164億円	▲ 102 億円	▲ 38.3
伊 都 土 地 区 画 整 理 事 業	7億円	34億円	27 億円	390.6
香 椎 駅 周 辺 土 地 区 画 整 理 事 業	24億円	14億円	▲ 11 億円	▲ 44.5
市 立 病 院 機 構 病 院 事 業 債 管 理	16億円	10億円	▲ 6 億円	▲ 36.1
市 債 管 理	4,352億円	4,294億円	▲ 58 億円	▲ 1.3
そ の 他	42億円	40億円	▲ 2 億円	▲ 4.2
特別会計 合 計	7,415億円	7,342億円	▲ 73 億円	▲ 1.0

4 特別会計の状況（主な増減）

＜国民健康保険事業＞ 国民健康保険事業費納付金（+20億円）, 保険給付費（+15億円）

＜介護保険事業＞ 保険給付費（+42億円）, 地域支援事業費（+6億円）

＜中央卸売市場＞ 青果市場買荷積込所等整備（▲3億円）, 公債費元金（▲3億円）

＜港湾整備事業＞ 公債費元金（▲101億円）

＜伊都土地区画整理事業＞ 公債費元金（+27億円）

＜香椎駅周辺土地区画整理事業＞ 移転補償（▲5億円）, 道路等工事費（▲4億円）

5 企業会計の状況（概要及び主な増減）

<モーターボート競走事業> 開催収益（+66億円）、建設改良費（▲22億円）

<下水道事業> 企業債償還金（▲36億円）、建設改良費（+30億円）

<水道事業> 建設改良費（+29億円）

<高速鉄道事業> 企業債償還金（▲43億円）、運輸収益（+19億円）

項 目	令和元年度	令和2年度	増減額	伸率（％）
モーターボート競走事業	533億円	577億円	43 億円	8.1
下水道事業	1,151億円	1,148億円	▲ 3 億円	▲ 0.3
水道事業	612億円	645億円	33 億円	5.5
工業用水道事業	7億円	11億円	4 億円	50.9
高速鉄道事業	854億円	831億円	▲ 24 億円	▲ 2.8
企業会計 合 計	3,158億円	3,212億円	54 億円	1.7